

Linux64bit版 / RasPi2版の場合の通信に関する設定

通信を行うためにはあらかじめターミナルで幾つかの設定をしておく必要がある場合があります。

USBシリアルを使って通信を行う場合（Linux / RasPi 両方）

> グループを調べる

1、USBシリアル変換器をつなぐ

2、ターミナルで `$ ls -l /dev/ttyUSB0`

例： `crw-rw---- 1 root dialout 188, 0 1月 18 22:53 /dev/ttyUSB0`

の場合： `dialout` がグループ

> グループに所属しているか調べる

1、ターミナルで `$ cat /etc/group | grep dialout`

例： `dialout:x:20`

ここに、ユーザーの名前が加わっていないければ以下の操作を行う

> グループに追加する

1、ターミナルで（Debian系） `$ sudo adduser ユーザー名 dialout`

または（その他一般） `$ sudo gpasswd -a ユーザー名 dialout`

2、ターミナルで `$ cat /etc/group | grep dialout`

例： `dialout:x:20:ユーザー名`

ここに、ユーザーの名前が加わっていればOK

なお、間違えて登録した場合など、グループから外れたい場合は

`$ sudo deluser ユーザー名 dialout` （Debian系）

`$ sudo gpasswd -d ユーザー名 dialout` （その他一般）

GPIOピンのTX/RXを使って通信を行う場合（RasPi Jessieの場合）

> カーネルのメッセージ出力を止める

1、`/boot/cmdline.txt` のバックアップを作る

`$ sudo cp /boot/cmdline.txt /boot/cmdline_original.txt`

2、`/boot/cmdline.txt` の内容を書き換える

`$ sudo nano /boot/cmdline.txt`

編集前

`dwc_otg.lpm_enable=0 console=ttyAMA0,115200 kgdboc=ttyAMA0,115200
console=tty1 root=/dev/mmcblk0p7 rootfstype=ext4 elevator=deadline rootwait`

編集後：上記オレンジ色部分を削除

`dwc_otg.lpm_enable=0 console=tty1 root=/dev/mmcblk0p7 rootfstype=ext4
elevator=deadline rootwait`

3、再起動

> コンソールに使われるのを禁止・停止する設定

1、ターミナルで `$ sudo systemctl disable serial-getty@ttyAMA0.service`

または `$ sudo systemctl stop serial-getty@ttyAMA0.service`

`disable` または `stop` するとGPIOピンがコンソールに使われなくなり通信に使えるようになります。

`stop` を使った場合は再起動後などで再度設定が必要になります。